



## 1 ホーム上における安全対策の充実

みなとみらい線は、ホーム上のお客様の転落を防止するため、32年度までに可動式ホーム柵の全駅整備を計画しています。29年度は、みなとみらい線で2駅目の整備となるみなとみらい駅の可動式ホーム柵の運用を開始しています。可動式ホーム柵にはデジタルサイネージを搭載し、沿線地域情報などの発信や、安全性の向上を目的とする注意喚起などを放映しています。また、広告面としても活用し、ホーム全体にわたる連続性の高い放映や動画放映にも対応した多様性など、訴求力の高い広告媒体として運用しています。



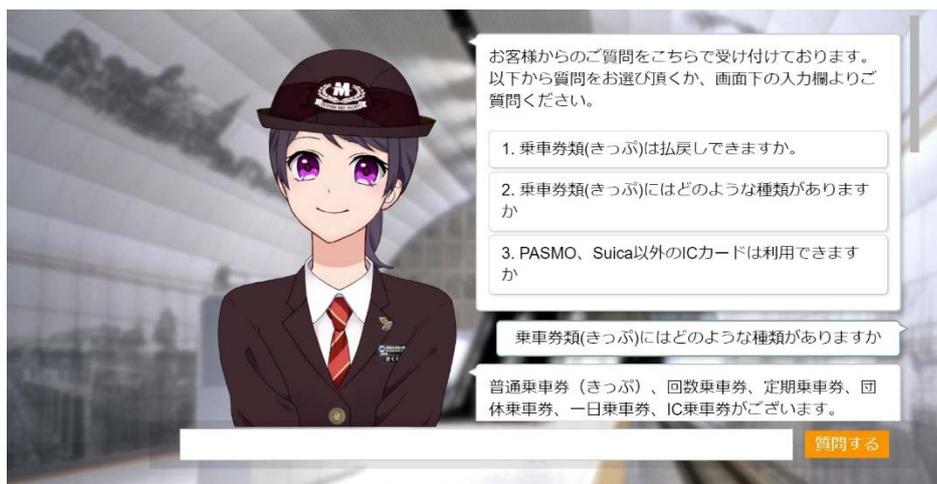
みなとみらい駅の可動式ホーム柵

### [みなとみらい駅の可動式ホーム柵の特徴]

- 扉や戸袋に透明な素材を用いて、開放感のある空間を実現
- 32インチのデジタルサイネージを乗降口脇に52面設置して、多様な情報を提供

## 2 新たな技術の導入によるお客様サービスの向上

当社では、株式会社ティファナドットコムが開発した人工知能(AI)接客システム「AIさくらさん」を活用したご案内サービスを提供しています。公式ホームページ上でお客様から寄せられる様々なお問い合わせに対して、人工知能(AI)が学習したデータを用い、迅速・的確に回答します。また、お客様よりお受けしたお問い合わせの内容は、データとして集積し、分類・整理して、さらなるお客様サービスの向上に積極的に活用しています。



「AI さくらさん」によるご案内

### 《問い合わせ》

横浜高速鉄道株式会社  
経営管理部経営企画課  
電話:045-664-0625